

DIAS気候変動研究向け データセット・アプリケーション の紹介

DIAS コミュニティフォーラム 2021 Online
2021/01/19

(一財)リモート・センシング技術センター
井上 孝洋

目次

データセットの探し方
(復習)

主な気候変動研究向け
データセット

主な気候変動研究向け
アプリケーション(その1):
d4PDFダウンロード・切り出しツール

主な気候変動研究向け
アプリケーション(その2):
SEAL

データセットの探し方 (復習)

DIASにおけるデータセットの探し方 (のひとつ)

<http://diasjp.net/>

The screenshot shows the DIAS website interface. At the top, there is a navigation menu with the following items: ホーム (Home), DIASとは (About DIAS), **データ・アプリケーション** (Data Application - circled in blue), 適用分野 (Application Fields), 活動紹介 (Activity Introduction), and お知らせ (Notice). Below the navigation is a banner for "DIASデータセット検索" (DIAS Data Set Search) with a "詳細はこちら" (Details here) button. The main content area features a red-bordered box with the following text:

【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】

日頃よりDIASをご利用いただき、有難うございます。

設備移設作業のため、以下の期間、DIASアプリケーションの利用ができなくなりますのでお知らせします。

停止期間：2021年1月30日（土）～2月23日（火）（予定）

影響範囲：広範囲Web（本ページ）を除く、DIAS全サービス（DIAS解析ユーザー利用環境含む）

長期間にわたる停止となり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

DIASにおけるデータセットの探し方 (のひとつ)

The screenshot shows the DIAS website interface. At the top, there is a navigation menu with links for Home, DIASとは, データ・アプリケーション, 適用分野, 活動紹介, and お知らせ. The main content area features a colorful map of Japan with a search overlay titled "DIASデータセット検索". The overlay text reads: "データ検索・検索システムでは、DIASに登録されている様々なデータセットを、分野やキーワードで検索し、さまざまな形式でダウンロードいただけます。" and includes a "詳細はこちら" button. To the right of the map is a sidebar menu with options: データ・アプリケーション一覧, データセット一覧, データセット検索, and 利用方法. Below the map, a red-bordered box contains a notice: "【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】".

【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】

日頃よりDIASをご利用いただき、有難うございます。

設備移設作業のため、以下の期間、DIASアプリケーションの利用ができなくなりますのでお知らせします。

停止期間：2021年1月30日（土）～2月23日（火）（予定）

影響範囲：広範囲Web（本ページ）を除く、DIAS全サービス（DIAS解析ユーザー利用環境含む）

長期間にわたる停止となり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

DIASにおけるデータセットの探し方 (のひとつ)

The screenshot shows the DIAS website interface. At the top, there is a navigation menu with the following items: ホーム (Home), DIASとは (About DIAS), データ・アプリケーション (Data Application), 適用分野 (Application Fields), 活動紹介 (Activity Introduction), and お知らせ (Notice). Below the menu is a main banner area with a map background and the text 'DIASデータセット検索' (DIAS Data Set Search). A callout box on the right side of the page lists the following options: データ・アプリケーション一覧 (Data Application List), データセット一覧 (Data Set List), データセット検索 (Data Set Search), and 利用方法 (Usage Method). The 'データセット検索' option is circled in blue, and a blue arrow points from it to a larger callout box on the right side of the page. This larger callout box contains the same list of options, with 'データセット検索' circled in blue.

DIASデータセット検索
 データ検索・検索システムでは、DIASに登録されている多様なデータセットを、
 分野やキーワードで検索し、さまざまな形式でダウンロードいただけます。
 詳細はこちら

データ・アプリケーション一覧
 データセット一覧
データセット検索
 利用方法

【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】
 日頃よりDIASをご利用いただき、有難うございます。
 設備移設作業のため、以下の期間、DIASアプリケーションの利用ができなくなりますのでお知らせします。
 停止期間：2021年1月30日（土）～2月23日（火）（予定）
 影響範囲：広報用Web（本ページ）を除く、DIAS全サービス（DIAS解析ユーザー利用環境含む）
 長期間にわたる停止となり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

俯瞰システム

DIAS データ俯瞰・検索システム
Dataset Search and Discovery

ホーム 使い方 このサイトについて

外部連携システム: JAMSTECデータカタログ JALITERデータ目録 国立極地研究所 学術データベース 国立極地研究所 北極域データベース

What?
 言語:
 キーワード:
 接続情報:
 概要:

Where?

 緯度: N S
 経度: W E
 全球 東経 北緯部内

When?
 開始日: -
 検索条件に含める
 終了日: -
 検索条件に含める
 東経 北緯部内

更新: 検索:

データセットの表示数: (デフォルトは100件を表示) データの存在しないデータは表示

GCHDプラットフォーム									
	航空機	氷塊/シバ	地球観測衛星	地上プラットフォーム	海洋プラットフォーム	地図 / 写真	モデル	可視化	未分類
農業			[2]	[45]			[22]		[0]
大気	[4]	[11]	[35]	[35]	[24]		[50]	[3]	[121]
生物分類				[1]	[3]				[13]
生物圏		[1]	[4]	[5]	[7]		[2]		[113]
気候指標							[22]		[11]
雪氷圏			[0]	[24]		[1]	[22]		[102]
人間の存在						[1]			[2]
地表			[0]	[49]		[2]	[27]		[62]
光学		[1]	[28]	[2]	[32]		[45]		[119]
古気候		[1]			[4]				[3]
固体地球		[1]	[1]	[3]	[4]				[22]
スペース/工学			[10]	[1]		[1]			[22]
太陽と地球の相互作用									[15]
地球水圏			[6]	[2]			[1]		[10]
その他			[2]						
未分類			[2]				[4]		[53]

全てのデータセットを表示

Copyright © 2004-2021 JAMSTEC. All Rights Reserved. JAMSTEC 研究機関 | DIASプラットフォーム

俯瞰システム→キーワード検索→メタデータ



検索結果はメタデータへのリンク

俯瞰システム→キーワード検索→メタデータ

このデータセットの引用文:
 佐々井康博, (2019), 大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ(東北から九州) by SI-CAT [Data set], データ統合・解析システム(DIAS), <https://doi.org/10.20783/DIAS.562>

引用フォーマット:

識別情報	
名称	大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ(東北から九州) by SI-CAT
略称	SI-CAT DDS5TK
DOI	doi:10.20783/DIAS.562
メタデータID	SICAT_DDS_5kmTK20200901183959-DIAS20200901154929-ja

問い合わせ先

データセットに関する問い合わせ先

名前	SI-CAT DDS5TK作成チーム
電子メールアドレス	sicat2a_dds@jamstec.go.jp

プロジェクトに関する問い合わせ先

データ統合・解析システム

検索結果はメタデータへのリンク

俯瞰システムの使い方マニュアル

DIAS データ俯瞰・検索システム
Dataset Search and Discovery

ホーム 使い方 このサイトについて

JAMSTEC Data Catalog | JaLTER | NIPR | ADS

外部連携システム: JAMSTECデータカタログ JaLTERデータ目録 国立極地研究所 学術データベース 国立極地研究所 北極域データベース

What?
 主題:
 タイトル:
 収録機関:
 概要:

Where?

 緯度: N S
 経度: W E
 全球 東経 北緯

When?
 開始日: 1999 - 1 - 1
 検索条件に含む
 終了日: 2021 - 12 - 31
 検索条件に含む
 東経 北緯

検索

縦軸: GOMDシステムキーワード | 横軸: GOMDプラットフォーム

プラットフォーム表示数: 3 (プラットフォーム数のAを参照) | データの存在しないカテゴリも表示

		航空機	氷河/ロケット	地球観測衛星	地上プラットフォーム	海洋プラットフォーム	地図/表/写真	モデル	ナビゲーション	未分類
GOMDシステムキーワード	農業			[2]	[95]			[22]		[6]
	大気	[4]	[9]	[20]	[20]	[15]		[42]	[3]	[47]
	生物分類				[1]					
	生物圏			[4]	[3]			[1]		[10]
	氷河圏							[22]		[1]
	雪氷圏			[0]	[34]		[1]	[22]		[4]
	人間的影響						[1]			[7]
	地名			[0]	[49]		[2]	[22]		[32]
	海洋			[42]		[13]		[32]		[6]
	圏域地球			[1]	[1]					[1]
	スペクトル/工学			[10]	[1]		[1]			[15]
	地球水圏			[6]	[2]			[1]		[1]
その他			[2]							
未分類			[2]				[4]		[161]	

全てのデータセットをみる

Copyright © 2006-2021 JAMSTEC, NIPR, RESTEC | JAMSTECデータ目録 | JALTERデータ目録

DIASにおけるデータセットの探し方 (もうひとつ)

<http://diasjp.net/>



The screenshot shows the DIAS website interface. At the top, there is a navigation menu with the following items: ホーム (Home), DIASとは (About DIAS), **データ・アプリケーション** (Data Application - circled in blue), 適用分野 (Application Fields), 活動紹介 (Activity Introduction), and お知らせ (Notice). Below the navigation is a banner for "DIASデータセット検索" (DIAS Data Set Search) with a "詳細はこちら" (Details here) button. The main content area features a red-bordered box with the following text:

【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】

日頃よりDIASをご利用いただき、有難うございます。

設備移設作業のため、以下の期間、DIASアプリケーションの利用ができなくなりますのでお知らせします。

停止期間：2021年1月30日（土）～2月23日（火）（予定）

影響範囲：広報用Web（本ページ）を除く、DIAS全サービス（DIAS解析ユーザー利用環境含む）

長期間にわたる停止となり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

DIASにおけるデータセットの探し方 (もうひとつ)

The screenshot shows the DIAS website interface. At the top, there is a navigation menu with links for Home, DIASとは, Data Application, Application Fields, Activity Introduction, and Notice. The main content area features a colorful map of Japan with a search overlay titled "DIASデータセット検索". The overlay text states: "データ検索・検索システムでは、DIASに登録されている様々なデータセットを、分野やキーワードで検索し、さまざまな形式でダウンロードいただけます。" and includes a "詳細はこちら" button. To the right of the map is a sidebar menu with options: "データ・アプリケーション一覧", "データセット一覧", "データセット検索", and "利用方法".

Below the map, a red-bordered box contains a notice titled "【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】". The text reads: "日頃よりDIASをご利用いただき、有難うございます。設備移設作業のため、以下の期間、DIASアプリケーションの利用ができなくなりますのでお知らせします。" The notice specifies the suspension period as "2021年1月30日(土)～2月23日(火) (予定)" and the affected scope as "広範囲Web(本ページ)を除く、DIAS全サービス(DIAS解析ユーザー利用環境含む)". It concludes with: "長期間にわたる停止となり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。"

DIASにおけるデータセットの探し方 (もうひとつ)

The screenshot shows the DIAS website interface. At the top, there is a navigation bar with the following items: ホーム, DIASとは, データ・アプリケーション, 適用分野, 活動紹介, お知らせ. Below the navigation bar, there is a main content area with a map background. A search box is visible with the text 'DIASデータセット検索' and a button '詳細はこちら'. A blue arrow points from the 'データセット一覧' option in the navigation menu to a callout box on the right. The callout box contains a list of menu items: データ・アプリケーション一覧, データセット一覧 (circled in blue), データセット検索, and 利用方法. Below the callout box, there is a section titled '【DIASアプリケーション長期停止のお知らせ】' with text regarding a long-term suspension of the DIAS application.

データセット一覧

[日本語](#) | [English](#)

データ統合・解析システム

[ホーム](#)
[DIASとは](#)
[データ・アプリケーション](#)
[適用分野](#)
[活動紹介](#)
[お知らせ](#)

データセット一覧

DIASデータセット公開状況 (2020/4/30)

[*] DIASから直接ダウンロード。それ以外は提供機関からダウンロード
 [**] 現時点で公開準備中。既定公開又は要協議

- ・ 衛星観測
- ・ 温室効果ガス等の大気観測
- ・ 陸域生態系・炭素フラックス観測
- ・ 気象観測
- ・ 流域観測
- ・ 海洋観測
- ・ 再解析
- ・ 予測
- ・ ダウンスケージング等
- ・ 自然災害
- ・ 土地利用
- ・ 健康被害

衛星観測

提供機関	データセット	データソース
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	Aqua搭載改良型高性能マイクロ波放射計(AMSR-E/AMSR2)データセット: Aqua_AMSR_E	地球観測の実施計画書
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	CEOP衛星データセット: ADEOS-II衛星 > AMSR, GLI [*] Aqua衛星 > AMSR-E, AIRS, AMSR2 [*] DMSP衛星 > SSML, SSMIS [*] Terra/Aqua衛星 > MODIS [*] TRMM衛星 > PR, TMI [*]	DIAS
宇宙航空研究開発機構	DIAS衛星データ:	DIAS

主な気候変動研究向け データセット

DIASから入手可能な気候変動研究向けデータセット例(1)

括弧内青字は“データセットID”

- d4PDF
 - 全球モデル(d4PDF_GCM)
 - 日本域ダウンスケーリング(d4PDF_RCM)
 - 日本域ダウンスケーリングP面データ(d4PDF_RCM_3D_Plev)
- JRA55family
 - 55年長期再解析 JRA-55 (JRA55)
 - 55年長期再解析 従来型観測データのみ使用 JRA-55C (JRA55_C)
 - 55年長期再解析 全観測データ不使用 JRA-55AMIP (JRA55_AMIP)
 - JRA-55領域ダウンスケーリング DSJRA-55 (DSJRA55)
 - 気象庁55年長期再解析 従来型観測データのみ使用・高解像度SST使用 JRA-55CHS (JRA55_CHS)
- 環境省
 - 全球気候変動予測データ(協力:気象庁) (GCM60_ADAPT2013)
 - 地域気候変動予測データ(協力:気象庁) (NHRCM20_ADAPT2013)
- 気象庁
 - 地球温暖化予測情報第8巻 (JMA_GWP)
 - 地球温暖化予測情報第9巻 (JMA_GWP9)

データセット2022(仮称)もDIASから公開予定

DIASから入手可能な気候変動研究向けデータセット例(2)

括弧内青字は“データセットID”

• SI-CAT成果

- 北太平洋海域10km将来予測データ FORP-NP10 version2 (SICAT_FORP_NP10_v2)
- 日本近海域2km将来予測データ FORP-JPN02 version2 (SICAT_FORP_JPN02_v2)
- 大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ(東北から九州) by SI-CAT (SICAT_DDS_5kmTK)
- 北海道1kmメッシュ統計的ダウンスケーリングデータ (HOKKAIDO_1kmSDS_SICAT)
- 農研機構地域気候シナリオ2017 (SICAT_SDS_1kmJP_NARO2017_V2_7r)
- 5次メッシュ(250mメッシュ)日本全国洪水氾濫被害予測 by SI-CAT (SICAT_Japan_Flood)
- 水害による都道府県別被害額 (FLOOD_4GCM_2RCP_1P)
- 熱中症に関する都道府県別統計的生命価値(VSL) (HEAT_2P)
- 砂浜侵食による都道府県別被害額 (BEACH_3GCM_4RCP_2P)
- 気候変動による長野県のスキー場被害額 (SKI_1GCM_2RCP_2P)
-

• CMIP5/CMIP6国内モデルデータ

- MIROC、NICAM、MRI
 - CMIP5_MIROC5
 - CMIP6_MRI_ESM2_0_ScenarioMIP
 -

CMIPデータはESGFサイトから検索、ダウンロード

• その他

- 作物収量の将来シナリオデータ (II7SR_crop_yields)
- 極端気温・降水量指標 (extreme_indices)
- バイアス補正済みCMIP5全球気候モデル日別 (CMIP5_CDFDM_S14FD)

主な気候変動研究向け アプリケーション(その1): d4PDFダウンロード・切り出しツール

d4PDFのダウンロードと切り出し

<http://d4pdf.diasjp.net/>

地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース(d4PDF)のファイルをダウンロードすることができます。変数、領域に基づいて切り出したデータのダウンロードも可能です。

利用手続き

DIASアカウントが必要です。
 詳細は、DIAS事務局：dias-office@diasjp.net までお問い合わせください。

ログイン

d4PDFデータダウンロードシステム
<http://d4pdf.diasjp.net/>

DIASの利用

- データ・アプリケーション一覧
- データセット一覧
- 利用方法

DIAS利用ガイドブック

現時点で利用可能なDIASのデータと機能の使用方法を解説した利用ガイドです。
[DIAS利用ガイドブック\(ver1.09\) \(PDF/7.0MB\)](#)

利用対象者

一般利用可: 利用条件を満たせば、どなたでもお使い頂けます。詳しい利用条件については、各アプリケーションのページをご参照下さい。

利用者限定: 基本的に特定のプロジェクトへの参加者を対象としています。もし詳細や個別の相談等をご希望でしたら、DIAS事務局または各アプリケーション担当者にお問合せ下さい。

d4PDFダウンロードシステム(全球モデル)

DIAS d4PDFダウンロード English

d4PDF_GCM (Original) d4PDF_RCM (Original) d4PDF_GCM (Subset) d4PDF_RCM (Subset)

選択データ
0 ファイル, 0Bytes

実験

- 過去実験: HPB
- 過去非標準化実験: HPB_NAT
- 将来4度昇温実験(昇温/シナシ = CCSMA): HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温/シナシ = GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温/シナシ = HadGEM2-AO): HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温/シナシ = MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温/シナシ = MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温/シナシ = MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温/シナシ = CCSMA): HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温/シナシ = GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温/シナシ = HadGEM2-AO): HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温/シナシ = MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温/シナシ = MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温/シナシ = MRI-CGCM3): HFB_2K_MR
- 実験共通: fixed

期間
1991 - 1998

変数カテゴリ

- 月平均3次元大気データ(水平解像度1.25度): atm_ovr_mon_1.25deg
- 月平均東西値平均3次元大気データ: atm_zonal_ovr_mon
- 1時間平均降水量データ: precip_ovr_1hr
- 3時間平均2次元データ: sfc_ovr_3hr
- 6時間平均2次元データ(水平解像度1.25度): sfc_ovr_6hr_1.25deg
- 日平均2次元データ: sfc_ovr_day
- 月平均2次元データ: sfc_ovr_mon
- 日本域1時間平均2次元データ: sfc_japan_ovr_1hr
- 日最高値2次元データ: sfc_max_day
- 日最低値2次元データ: sfc_min_day
- 6時間間隔2次元データ: sfc_snp_6hr_2byte
- 日平均2次元データ(降雪): sfc_souseit_ovr_day
- 12時間間隔3次元大気データ(水平解像度2.5度): umn_24hrs_snp_12hr_2.5deg
- 6時間間隔3次元大気データ(水平解像度1.25度): umn_snp_6hr_1.25deg
- 6時間間隔3次元大気データ(特定レベルのみ): atm_snp_6hr_2byte
- 日平均東西値平均3次元大気データ: eplux_ovr_day

アンサンブル

r001 r002 r003 r004 r005 r006 r007 r008 r009 r010 r011 r012 r013 r014 r015 r016 r017 r018 r019 r020 r021 r022 r023 r024 r025
r026 r027 r028 r029 r030 r031 r032 r033 r034 r035 r036 r037 r038 r039 r040 r041 r042 r043 r044 r045 r046 r047 r048 r049 r050
r051 r052 r053 r054 r055 r056 r057 r058 r059 r060 r061 r062 r063 r064 r065 r066 r067 r068 r069 r070 r071 r072 r073 r074 r075
r076 r077 r078 r079 r080 r081 r082 r083 r084 r085 r086 r087 r088 r089 r090 r091 r092 r093 r094 r095 r096 r097 r098 r099 r100

ダウンロードボタン

↓ データダウンロードカテゴリ (for Python 2)
↓ データダウンロードカテゴリ (for Python 3)

grib形式でダウンロードされる

d4PDFダウンロードシステム(領域モデル)

DIAS d4PDFダウンロード English

d4PDF_GCM (Original) d4PDF_RCM (Original) d4PDF_GCM (Subset) d4PDF_RCM (Subset)

選択データ
0 ファイル, 0Bytes

実験

- 過去実験: HFB
 - 将来4度昇温実験(昇温パターン = CCSM4): HFB_4K_CC
 - 将来4度昇温実験(昇温パターン = GFDL-CM3): HFB_4K_CF
 - 将来4度昇温実験(昇温パターン = HadGEM2-AO): HFB_4K_HA
 - 将来4度昇温実験(昇温パターン = MIROC5): HFB_4K_MI
 - 将来4度昇温実験(昇温パターン = MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
 - 将来4度昇温実験(昇温パターン = MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
 - 将来2度昇温実験(昇温パターン = CCSM4): HFB_2K_CC
 - 将来2度昇温実験(昇温パターン = GFDL-CM3): HFB_2K_CF
 - 将来2度昇温実験(昇温パターン = HadGEM2-AO): HFB_2K_HA
 - 将来2度昇温実験(昇温パターン = MIROC5): HFB_2K_MI
 - 将来2度昇温実験(昇温パターン = MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
 - 将来2度昇温実験(昇温パターン = MRI-CGCM3): HFB_2K_MR
- 実験共通: fixed
- サンプルプログラム: 大気3次元データ用

期間
1950 - 1999

変数カテゴリ

- 地上大気データ: surf
- 熱力学関連2次元データ: ph2m
- 土壌関連データ: sib
- 大気3次元データ: 3d_dato
 - 気圧変動関連3次元データ: plev

アンサンブル

n001 n002 n003 n004 n005 n006 n007 n008 n009 n010 n021 n022 n023 n024 n025 n026 n027 n028 n029 n030 n041 n042 n043 n046 n047 n048 n049 n050 n061 n062 n063 n064 n065 n066 n067 n068 n069 n070 n081 n082 n083 n084 n085 n086 n087 n088

Select All Ok Cancel

- [データダウンロードスクリプト \(for Python 2\)](#)
- [データダウンロードスクリプト \(for Python 3\)](#)

grib形式でダウンロードされる

d4PDF切り出し(全球モデル)

d4PDF切り出し
English

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM (Subset)

選択データ

0 ファイル, 0Bytes

選択

実験

- * 過去実験: HFB
- 過去非温暖化実験: HFB_NAT
- 将来4度温暖化実験(算出)シナリオ = CCSMA): HFB_4K_CC
- 将来4度温暖化実験(算出)シナリオ = GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度温暖化実験(算出)シナリオ = HadGEM2-AO): HFB_4K_HA
- 将来4度温暖化実験(算出)シナリオ = MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度温暖化実験(算出)シナリオ = MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度温暖化実験(算出)シナリオ = MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度温暖化実験(算出)シナリオ = CCSMA): HFB_2K_CC
- 将来2度温暖化実験(算出)シナリオ = GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度温暖化実験(算出)シナリオ = HadGEM2-AO): HFB_2K_HA
- 将来2度温暖化実験(算出)シナリオ = MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度温暖化実験(算出)シナリオ = MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度温暖化実験(算出)シナリオ = MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間

[1951] [1] [1991] [1]

変数

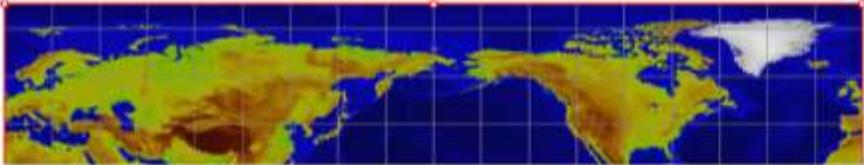
- * 月平均3次元大気データ(水平解像度1.25度): atm_ovr_mon_1.25deg
- * 月平均東西赤道3次元大気データ: atm_sonal_ovr_mon
- * 1時間平均降水量データ: precip_ovr_1hr
- * 3時間平均3次元大気データ: sfc_ovr_3hr
- * 6時間平均3次元大気データ(水平解像度1.25度): sfc_ovr_6hr_1.25deg
- * 日平均3次元大気データ: sfc_ovr_day
- * 月平均3次元大気データ: sfc_ovr_mon
- * 日本域1時間平均3次元大気データ: sfc_japan_ovr_1hr
- * 日最高3次元大気データ: sfc_max_day
- * 日最低3次元大気データ: sfc_min_day
- * 6時間間隔3次元大気データ: sfc_snp_6hr_2byte
- * 日平均3次元大気データ(浮動): sfc_souseki_ovr_day
- * 12時間間隔3次元大気データ(水平解像度2.5度): atm_24hrs_snp_12hr_2.5deg
- * 6時間間隔3次元大気データ(水平解像度1.25度): atm_snp_6hr_1.25deg
- * 6時間間隔3次元大気データ(特定レベルのみ): atm_snp_6hr_2byte
- * 日平均東西赤道3次元大気データ: eqflux_ovr_day

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m011 m012 m013 m014 m015 m016 m017 m018 m019 m020 m021 m022 m023 m024 m025
 m026 m027 m028 m029 m030 m031 m032 m033 m034 m035 m036 m037 m038 m039 m040 m041 m042 m043 m044 m045 m046 m047 m048 m049 m050
 m051 m052 m053 m054 m055 m056 m057 m058 m059 m060 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070 m071 m072 m073 m074 m075
 m076 m077 m078 m079 m080 m081 m082 m083 m084 m085 m086 m087 m088 m089 m090 m091 m092 m093 m094 m095 m096 m097 m098 m099 m100

Subset: 0変数

領域



d4PDF切り出し (領域モデル)

d4PDF切り出し

[English](#)

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM (Subset)

選択データ

0 ファイル, 0Bytes

[選択](#)

実験

※ 過去実験 : HPS

- 将来4度昇温実験(昇温/19年 = CCSM4) : HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温/19年 = GFDL-CM3) : HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温/19年 = HadGEM2-AO) : HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温/19年 = MIROC5) : HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温/19年 = MPI-ESM-MR) : HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温/19年 = MRI-CGCM3) : HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温/19年 = CCSM4) : HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温/19年 = GFDL-CM3) : HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温/19年 = HadGEM2-AO) : HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温/19年 = MIROC5) : HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温/19年 = MPI-ESM-MR) : HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温/19年 = MRI-CGCM3) : HFB_2K_MR

期間

1950 - 09 - 1950 - 09

変数

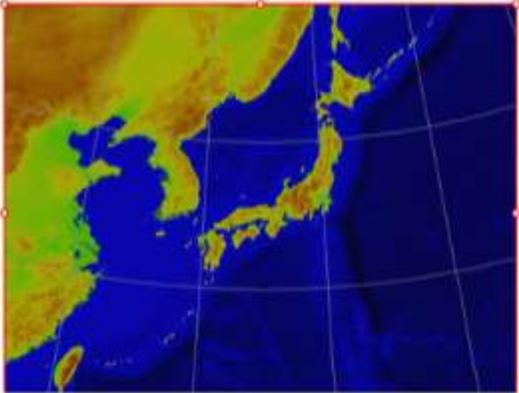
- † 地上大気データ : surf
- † 熱力学関連2次元データ : ph2ln
- † 土壌関連データ : srb
- † 大気3次元データ : 3d.darno

アンサンブル

r001 r002 r003 r004 r005 r006 r007 r008 r009 r010 r021 r022 r023 r024 r025 r026 r027 r028 r029 r030 r041 r042 r043 r044 r045 r046 r047 r048 r049 r050 r061 r062 r063 r064 r065 r066 r067 r068 r069 r070 r081 r082 r083 r084 r085 r086 r087 r088 r089 r090

[選択](#) [再実行](#)

領域



d4PDF切り出し(領域モデル)手順例

DIAS d4PDF切り出し

d4PDF_GCM (Original) d4PDF_RCM (Original) d4PDF_GCM (Subset) d4PDF_RCM (Subset)

選択データ
0 ファイル, 0Bytes

実験

- 過去実験: HPB
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = CCSM4): HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = HadGEM2-AO): HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = CCSM4): HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = HadGEM2-AO): HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間
1950 - 09 - 1950 - 09

変数

- 地上大気データ: surf
- 熱力学関連2次元データ: ph2m
- 土壌関連データ: sib
- 大気3次元データ: 3d.data

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m021 m022 m023 m024 m025
m046 m047 m048 m049 m050 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070

領域

実験

- 過去実験: HPB
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = CCSM4): HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = HadGEM2-AO): HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温パターン = MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = CCSM4): HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = HadGEM2-AO): HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温パターン = MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間

1950 09 - 1950 09

変数

- 地上大気データ: surf
- 熱力学関連2次元データ: ph2m
- 土壌関連データ: sib
- 大気3次元データ: 3d.data

d4PDF切り出し(領域モデル) 手順例

d4PDF切り出し
English

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM (Subset)

選択データ

0 ファイル, 0Bytes

[選択]

実験

※ 過去実験: HFB

- 将来4度気温実験(算道/シナシ=CCSMA): HFB_4K_CC
- 将来4度気温実験(算道/シナシ=GFOL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度気温実験(算道/シナシ=HadGEM2-AO): HFB_4K_HA
- 将来4度気温実験(算道/シナシ=MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度気温実験(算道/シナシ=MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度気温実験(算道/シナシ=MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度気温実験(算道/シナシ=CCSMA): HFB_2K_CC
- 将来2度気温実験(算道/シナシ=GFOL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度気温実験(算道/シナシ=HadGEM2-AO): HFB_2K_HA
- 将来2度気温実験(算道/シナシ=MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度気温実験(算道/シナシ=MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度気温実験(算道/シナシ=MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間

1950 - 99 - 1950 - 99

変数

▼ 地上大気データ: surf

- smqr: Accumulated rain
- smqi: Accumulated ice
- smqs: Accumulated snow
- smgg: Accumulated groupel
- smqh: Accumulated hail
- rain: Precipitation
- psea: Sea level pressure
- psurf: Surface pressure
- u & v: U and V-components of wind
- tmp: Temperature
- htd: Dew point depression
- cll: Low cloud cover
- cml: Medium cloud cover
- chl: High cloud cover
- cla: Total cloud cover
- tpe: Precipitable water

▼ 熱力学関連2次元データ: ph2m

▼ 土壌関連データ: sb

▼ 大気3次元データ: 3d.data

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m021 m022 m023 m024 m025 m026 m027 m028 m029 m030 m041 m042 m043 m044 m045
 m046 m047 m048 m049 m050 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070 m081 m082 m083 m084 m085 m086 m087 m088 m089 m090
 [選択] [選択]

領域

d4PDF切り出し(領域モデル)手順例

d4PDF切り出し
English

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM

選択データ

0 ファイル, 0Bytes

選択

実験

過去実験: HFB

将来4度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_4K_CC

将来4度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_4K_GF

将来4度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-AD): HFB_4K_HA

将来4度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_4K_MI

将来4度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP

将来4度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_4K_MR

将来2度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_2K_CC

将来2度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_2K_GF

将来2度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-AD): HFB_2K_HA

将来2度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_2K_MI

将来2度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP

将来2度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間

1986 - 1990

変数

地上大気データ: surf

smqr: Accumulated rain

smqi: Accumulated ice

smqs: Accumulated snow

smqg: Accumulated graupel

smqh: Accumulated hail

rain: Precipitation

pseal: Sea level pressure

psurf: Surface pressure

u & v: U and V-components of wind

tmp: Temperature

ttd: Dew point depression

cll: Low cloud cover

clm: Medium cloud cover

clh: High cloud cover

cla: Total cloud cover

tpw: Precipitable water

熱力学関連2次元データ: ph2m

土壌関連データ: sib

大気3次元データ: 3d.data

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m011 m012 m013 m014 m015 m016 m017 m018 m019 m020 m021 m022 m023 m024 m025 m026 m027 m028 m029 m030 m031 m032 m033 m034 m035 m036 m037 m038 m039 m040 m041 m042 m043 m044 m045 m046 m047 m048 m049 m050 m051 m052 m053 m054 m055 m056 m057 m058 m059 m060 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070 m071 m072 m073 m074 m075 m076 m077 m078 m079 m080 m081 m082 m083 m084 m085 m086 m087 m088 m089 m090

Select All Clear All

領域

変数

地上大気データ: surf

smqr: Accumulated rain

smqi: Accumulated ice

smqs: Accumulated snow

smqg: Accumulated graupel

smqh: Accumulated hail

rain: Precipitation

pseal: Sea level pressure

psurf: Surface pressure

u & v: U and V-components of wind

tmp: Temperature

ttd: Dew point depression

cll: Low cloud cover

clm: Medium cloud cover

clh: High cloud cover

cla: Total cloud cover

tpw: Precipitable water

熱力学関連2次元データ: ph2m

土壌関連データ: sib

大気3次元データ: 3d.data

d4PDF切り出し(領域モデル)手順例

d4PDF切り出し
English

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM (Subset)

選択データ

0 ファイル, 0Bytes

抽出

実験

- 過去実験: HFB
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-A0): HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-A0): HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間

1986 - 1990

変数

地上大気データ: surf

- smag: Accumulated rain
- smig: Accumulated ice
- smqs: Accumulated snow
- smgs: Accumulated graupel
- smgh: Accumulated hail
- rain: Precipitation
- psea: Sea level pressure
- psurf: Surface pressure
- u & v: U and V-components of wind
- tmp: Temperature
- ttd: Dew point depression
- cll: Low cloud cover
- clm: Medium cloud cover
- clh: High cloud cover
- cla: Total cloud cover
- tpw: Precipitable water

※ 熱力学関連2次元データ: ph2m

※ 土壌関連データ: s1b

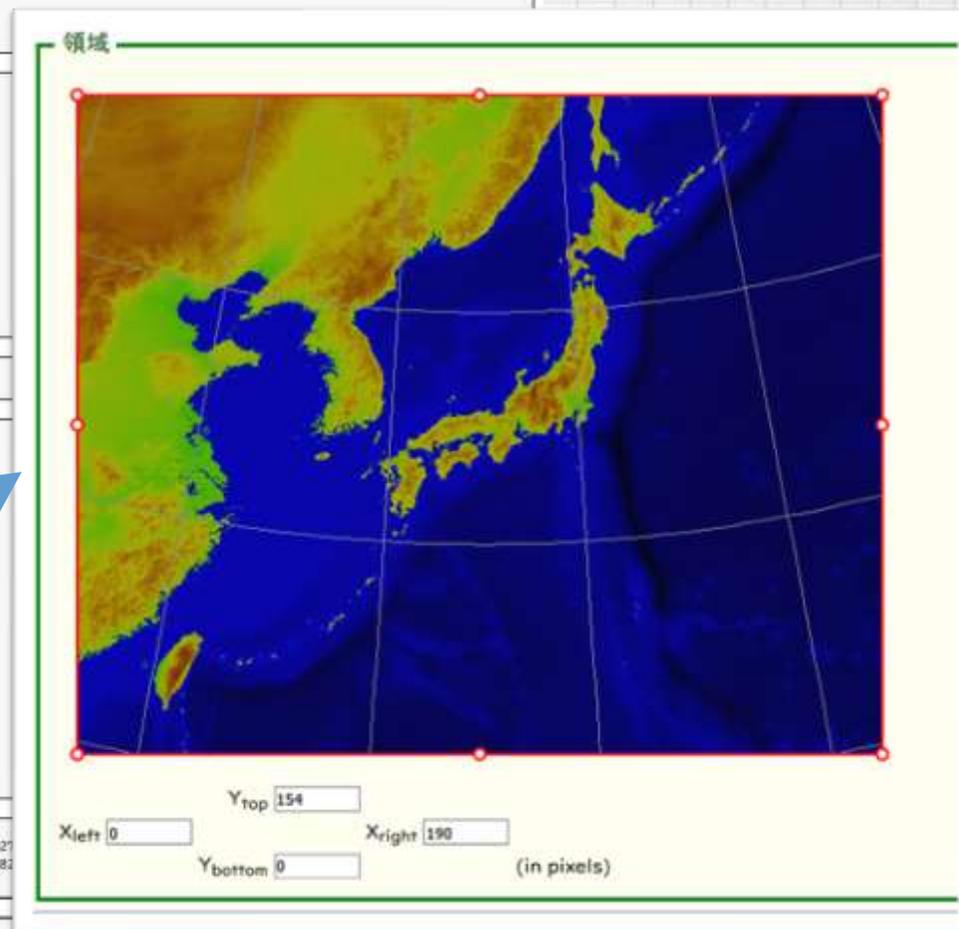
※ 大気3次元データ: 3d.data

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m021 m022 m023 m024 m025 m026 m027
 m046 m047 m048 m049 m050 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070 m081 m082

Select All Clear All

領域



d4PDF切り出し(領域モデル) 手順例

DIAS d4PDF切り出し English

d4PDF_GCM (Original) d4PDF_RCM (Original) d4PDF_GCM (Subset) d4PDF_RCM (Subset)

選択データ
0 ファイル, 0Bytes

実験

- 過去実験: HFB
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-AD): HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-AD): HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間
1986 - 1990

変数

- * 地上大気データ: surf
 - smag: Accumulated rain
 - smaj: Accumulated ice
 - smas: Accumulated snow
 - smag: Accumulated graupel
 - smah: Accumulated hail
 - rain: Precipitation
 - psea: Sea level pressure
 - psurf: Surface pressure
 - u & v: U and V-components of wind
 - temp: Temperature
 - ttd: Dew point depression
 - cl: Low cloud cover
 - cm: Medium cloud cover
 - ch: High cloud cover
 - cla: Total cloud cover
 - tpw: Precipitable water
- * 熱力学関連2次元データ: ph2m
- * 土壌関連データ: slb
- * 大気3次元データ: 3d.data

アンサンブル
 m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m021 m022 m023 m024 m025 m026 m027 m046 m047 m048 m049 m050 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070 m081 m082

領域

領域

Xleft 112 Ytop 142 Xright 141 Ybottom 108 (in pixels)

d4PDF切り出し(領域モデル) 手順例

d4PDF切り出し
English

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM (Subset)

選択データ

50 ファイル, 144MB
選択

実験

- * 過去実験 : HFB
- 将来4度気温実験(気温/バージョン = CCSM4) : HFB_4K_CC
- 将来4度気温実験(気温/バージョン = GFDL-CM3) : HFB_4K_GF
- 将来4度気温実験(気温/バージョン = HadGEM2-AO) : HFB_4K_HA
- 将来4度気温実験(気温/バージョン = MIROC5) : HFB_4K_MI
- 将来4度気温実験(気温/バージョン = MPI-ESM-MR) : HFB_4K_MP
- 将来4度気温実験(気温/バージョン = MRI-CGCM3) : HFB_4K_MR
- 将来2度気温実験(気温/バージョン = CCSM4) : HFB_2K_CC
- 将来2度気温実験(気温/バージョン = GFDL-CM3) : HFB_2K_GF
- 将来2度気温実験(気温/バージョン = HadGEM2-AO) : HFB_2K_HA
- 将来2度気温実験(気温/バージョン = MIROC5) : HFB_2K_MI
- 将来2度気温実験(気温/バージョン = MPI-ESM-MR) : HFB_2K_MP
- 将来2度気温実験(気温/バージョン = MRI-CGCM3) : HFB_2K_MR

期間

1950
→
99
→
1950
→
99

変数

- ▼ 地上大気データ : surf
 - smgr : Accumulated rain
 - smgi : Accumulated ice
 - smqs : Accumulated snow
 - smag : Accumulated graupel
 - smgh : Accumulated hail
 - rain : Precipitation
 - psea : Sea level pressure
 - psurf : Surface pressure
 - u & v : U and V-components of wind
 - temp : Temperature
 - hfd : Dew point depression
 - cll : Low cloud cover
 - clm : Medium cloud cover
 - clh : High cloud cover
 - cla : Total cloud cover
 - tpr : Precipitable water
- ▼ 熱力学関連2次元データ : gh2m
- ▼ 土壌関連データ : sfc
- ▼ 大気3次元データ : 3d_data

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m021 m022 m023 m024 m025 m026 m027 m028 m029 m030 m041 m042 m043 m044 m045 m046 m047 m048 m049 m050 m061 m062 m063 m064 m085 m066 m067 m068 m069 m070 m081 m082 m083 m084 m085 m086 m087 m088 m089 m090

3dvar_01 3dvar_02

領域

d4PDF切り出し(領域モデル) 手順例

d4PDF切り出し
English

d4PDF_GCM (Original)
d4PDF_RCM (Original)
d4PDF_GCM (Subset)
d4PDF_RCM (Subset)

選択データ

50 ファイル, 144MB

切り出し

実験

- 過去実験: HFB
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_4K_CC
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_4K_GF
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-AD): HFB_4K_HA
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_4K_MI
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_4K_MP
- 将来4度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_4K_MR
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=CCSM4): HFB_2K_CC
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=GFDL-CM3): HFB_2K_GF
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=HadGEM2-AD): HFB_2K_HA
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MIROC5): HFB_2K_MI
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MPI-ESM-MR): HFB_2K_MP
- 将来2度昇温実験(昇温パターン=MRI-CGCM3): HFB_2K_MR

期間

1986 - 1999

変数

- 地上大気データ: surf
 - smyr: Accumulated rain
 - smaj: Accumulated ice
 - smag: Accumulated snow
 - smag: Accumulated graupel
 - smgh: Accumulated hail
 - rain: Precipitation
 - psea: Sea level pressure
 - psurf: Surface pressure
 - uv: U and V-components of wind
 - temp: Temperature
 - ttd: Dew point depression
 - cl: Low cloud cover
 - cm: Medium cloud cover
 - ch: High cloud cover
 - cla: Total cloud cover
 - tpw: Precipitable water
- 熱力学関連2次元データ: ph2m
- 土壌関連データ: slb
- 大気3次元データ: 3d.data

アンサンブル

m001 m002 m003 m004 m005 m006 m007 m008 m009 m010 m021 m022 m023 m024 m025 m026 m027 m028 m029 m030 m041 m042 m043 m044 m045 m046 m047 m048 m049 m050 m061 m062 m063 m064 m065 m066 m067 m068 m069 m070 m081 m082 m083 m084 m085 m086 m087 m088 m089 m090

Select All Clear All

領域

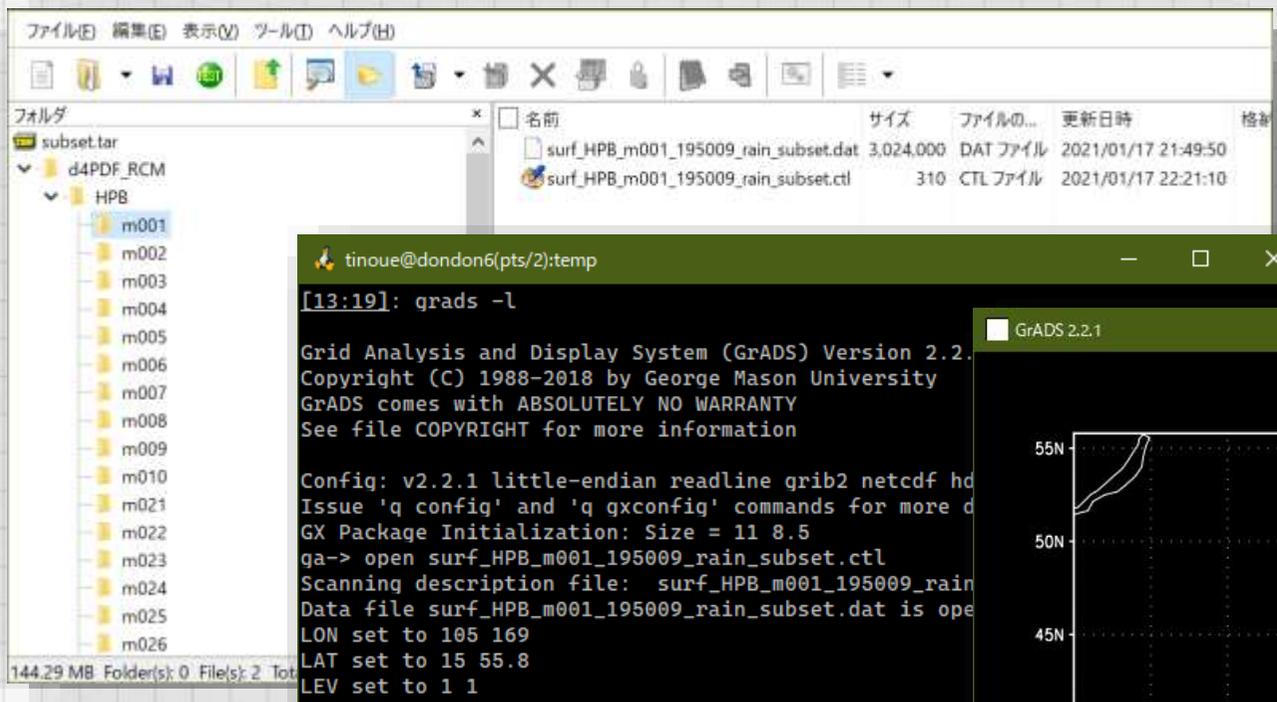
選択データ

50 ファイル, 144MB

切り出し

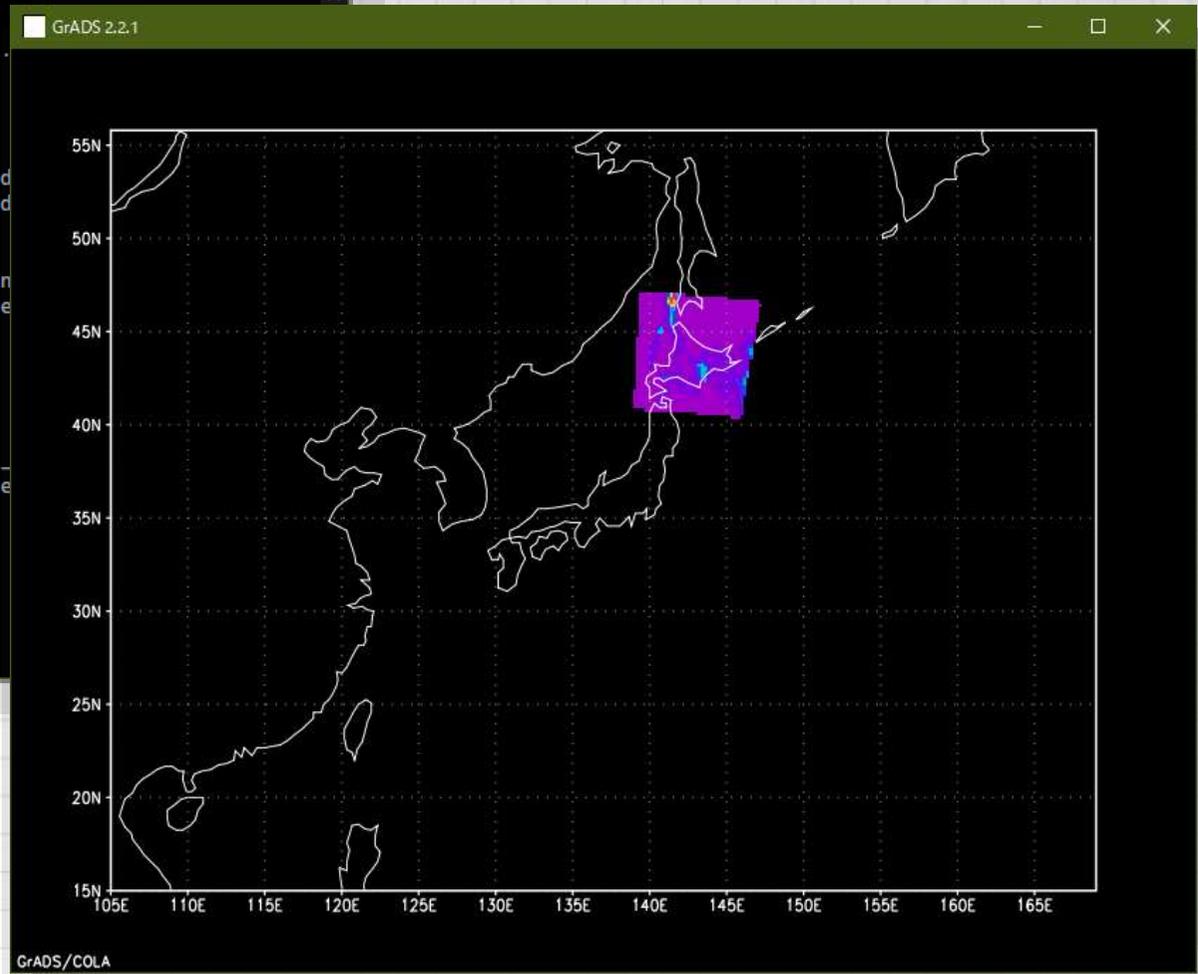
d4PDF切り出し(領域モデル)

GrADS用のデータファイルとctlファイル
がダウンロードされる



```
tinoue@dondon6(pts/2):temp
[13:19]: grads -l
Grid Analysis and Display System (GrADS) Version 2.2.
Copyright (C) 1988-2018 by George Mason University
GrADS comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY
See file COPYRIGHT for more information

Config: v2.2.1 little-endian readline grib2 netcdf h
Issue 'q config' and 'q gxconfig' commands for more d
GX Package Initialization: Size = 11 8.5
qa-> open surf_HPBM001_195009_rain_subset.ctl
Scanning description file: surf_HPBM001_195009_rain
Data file surf_HPBM001_195009_rain_subset.dat is ope
LON set to 105 169
LAT set to 15 55.8
LEV set to 1 1
Time values set: 1950:9:1:1 1950:9:1:1
E set to 1 1
Notice: Implied interpolation for file surf_HPBM001_
Interpolation will be performed on any data displaye
qa-> set t 500
Time values set: 1950:9:21:20 1950:9:21:20
qa-> set gxout grfill
qa-> d rain
Notice: Automatic Grid Interpolation Taking Place
Contouring: 0 to 0.55 interval 0.05
qa-> |
```



CSV化は手間がかかる!

主な気候変動研究向け アプリケーション(その2): SEAL

SEAL:SI-CAT気候実験データベースシステム

<http://si-cat.diasjp.net/seal/>

SEAL SI-CAT気候実験データベースシステム
System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data (SEAL)

概要

SI-CAT気候実験データベースシステム (System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data: SEAL) は、気候変動適応技術社会実装プログラム (Social Implementation Program on Climate Change Adaptation Technology: SI-CAT) において開発されました。SEALは地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース (database for Policy Decision making for Future climate change: d4PDF) のデータから、高速かつ効率的に必要なデータを見つけるためのシステムです。d4PDFのデータは、データ統合・解析システム (Data Integration and Analysis System: DIAS) からダウンロードすることができます。当ページの下方にある「利用の手引き」を参照の上、ご利用ください。



SEAL-F
SEAL-Finder
データ検索用



SEAL-V
SEAL-Visualizer
データ分析用

SEAL-F (SEAL-Finder) について

SEAL-Fは、d4PDFから条件に合ったデータを絞り込むためのWebユーザーインターフェースです。降水量や気温について、都道府県などの条件を入力することで、検索結果などの必要データを検索することができます。また、検索結果に基づき、オリジナルデータをダウンロードすることができます。

SEAL-V (SEAL-Visualizer) について

SEAL-Vは、d4PDFのデータを可視化するためのWebユーザーインターフェースです。降水量や気温について、ヒストグラムなどを簡単に

利用の手引き

利用の手引きは、SEALの利用方法を説明したものです。Webユーザーインターフェースのスクリーンショットを見ながら、利用方法を知ることができます。より詳しく知りたい方は、第3章をご覧ください。より詳細な利用方法を知りたい方は、第2章をご覧ください。

利用の手引き (PDF) (公開更新日: 2019年12月20日)

謝辞

SEAL-Fはd4PDFのフロントエンドとして利用可能

SEAL-F

初期画面



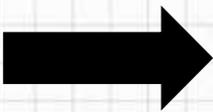
ニーズの例:

d4PDF中で、北海道で日降水量が100mm以上となる日の降水量・気温データを取得したい。



従来の方は、

5,490年分(約160GB)の特別降水量データをダウンロードしてから該当する日を探し、気温データをダウンロード。



SEAL-Fを使うと、

Webインターフェースで該当する日を検索し、降水量と気温データを一括でダウンロード。

SEAL-F

検索の種類毎に説明が表示される



SEAL-Fでデータ取得の例

The screenshot shows the SEAL-F web interface with the following search criteria:

- サーチセット:** 気候(CMIP) (selected), 気候(IPCC), 気候(AR5)
- 変数:** 降水量 (AMV) (selected), 気温(TMP), 降水量(MSU) (気圧(TPF)の適合性)
- 行政区域:** 気象庁, 国土交通省, 国土交通省 (selected)
- 実験の種類:** 気候(CMIP) (selected), 気候(IPCC), 気候(AR5)
- 検索の種類:** 日降水量(観測以上の降水量), 日降水量(観測未満), 日降水量(観測), 日降水量(観測未満)
- 開始年月 (T₁):** 2000-01 (YYYY-MM)
- 終了年月 (T₂):** 2000-12 (YYYY-MM)

検索の種類の詳細(ある行政区域の指定範囲(T₁ > 年月 <= T₂)において、降水量の月別値を生成する。)

<p>年月日の指定可能範囲(地域+モデル)</p> <p>将来4℃昇温実験: 2050-09-31 ~ 2111-09-01 or 2050-09 ~ 2111-09</p> <p>将来2℃昇温実験: 2030-09-31 ~ 2091-09-01 or 2030-09 ~ 2091-09</p> <p>過去実験: 1950-09-01 ~ 2011-09-01 or 1950-09 ~ 2011-09</p>	<p>年月日の指定可能範囲(全球モデル)</p> <p>将来4℃昇温実験: 2051-01-01 ~ 2110-12-31</p> <p>過去実験: 1951-01-01 ~ 2011-12-31</p> <p>非温暖化実験: 1951-01-01 ~ 2010-12-31</p>
---	---

検索

領域モデル・降水量・宮崎県
将来4℃昇温実験
月別値

SEAL-Fでデータ取得の例

SEAL-F System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data (SEAL) - Finder

データベース: d4PDF(領域モデル実験) | d4PDF(全球モデル実験)

実験の種類: 将来4°C昇温実験 | 将来2°C昇温実験 | 過去実験

検索の種類: 日降水量が閾値以上の発生回数 | 日降水量の年最大値 | 3日間積算降水量

行政区域: 東京都 | 格子点マップ | 格子点座標

開始年月(T₁): 2050-09 (YYYY-MM) | 終了年月(T₂): 2050-12 (YYYY-MM)

検索の種類の詳細(ある行政区域の指定期間(T₁ >= 年月 >= T₂)に、日降水量の月別値を検索する。)

年月日の指定可能範囲(領域モデル実験)
 将来4°C昇温実験: 2050-09-01 ~ 2111-09-01 or 2050-09 ~ 2111-09
 将来2°C昇温実験: 2030-09-01 ~ 2091-09-01 or 2030-09 ~ 2091-09
 過去実験: 1950-09-01 ~ 2011-09-01 or 1950-09 ~ 2011-09

年月日の指定可能範囲(全球モデル実験)
 将来4°C昇温実験: 2051-01-01 ~ 2110-12-31
 過去実験: 1951-01-01 ~ 2011-12-31
 非温暖化実験: 1951-01-01 ~ 2010-12-31

領域モデル・降水量・宮崎県
 将来4°C昇温実験
 月別値

年月日の指定可能範囲(領域
 将来4°C昇温実験: 2050-09-
 将来2°C昇温実験: 2030-09-
 過去実験: 1950-09-01 ~ 2011-09-01 or 1950-09 ~ 2011-09

検索

d4PDF(領域モデル実験)
 d4PDF(全球モデル実験)

降水量 (RAIN)
 気温 (TMP)
 降水量 (RAIN)・気温 (TMP) の複合検索

東京都 | 格子点マップ | 格子点座標

将来4°C昇温実験
 将来2°C昇温実験
 過去実験

日降水量が閾値以上の発生回数
 日降水量の年最大値
 3日間積算降水量

月別値
 指定月数の積算値・平均値

2050-09 (YYYY-MM)
 2050-12 (YYYY-MM)

SEAL-Fでデータ取得の例

領域モデル・降水量・宮崎県
将来4℃昇温実験
月別値

データダウンロードの検索および注意事項

1) ハイブリッド形式のデータ作成にはDIASの標準機能を用いている。テキスト形式とCSV形式のデータは、SI-CATで開発した機能を用いて、ハイブリッド形式のデータを生成している。
 2) データダウンロードには1日1点単位である。気象結果に誤差が含まれる場合は、気象データのデータダウンロードとなる。
 3) テキスト形式とCSV形式の場合は、気象データのデータダウンロードは、サーバーの負荷状況によって5分間隔(1024バイト/秒)が可能な場合がある。
 4) テキスト形式のデータフォーマットは、時刻をTとして、X,Y,Zを示す。同じZ以下の値である(CSV形式も同様)。
 (0,0,0) (0,1,0) ... (0,189,0) (0,190,0)
 (0,0,1) (0,1,1) ... (0,189,1) (0,190,1)
 (0,0,154) (0,1,154) ... (0,189,154) (0,190,154)
 (1,0,0) (1,1,0) ... (1,189,0) (1,190,0)
 (720,0,153) (720,1,153) ... (720,189,153) (720,190,153)
 (720,0,154) (720,1,154) ... (720,189,154) (720,190,154)

データダウンロードの変数選択

地上気象データ : surf

SMQR : Accumulated rain
 SMQH : Accumulated hail
 U&V : U and V-components of wind
 CLM : Medium cloud cover

SMQE : Accumulated ice
 RAIN : Precipitation
 TMP : Temperature
 CLH : High cloud cover

SMQS : Accumulated snow
 PSEA : Sea level pressure
 TTD : Dew point depression
 CLA : Total cloud cover

SMQO : Accumulated grouse
 PSLMF : Surface pressure
 CLL : Low cloud cover
 TPW : Precipitable water

熱力学関連2次元データ : 2Dh

W_G1 : Volume water content (10 cm below ground)
 UMSDB : Downward short wave radiation flux of ground
 UMSBEAM : Direct solar radiation on horizontal plane
 TBN1 : Soil temperature (first layer)
 A_TSFC : Maximum temperature

W_G2 : Volume water content (50 cm below ground)
 UMSUB : Upward short wave radiation flux of ground
 UMSDF : Sky-scattering solar radiation
 TBN2 : Soil temperature (second layer)
 T_TSFC : Minimum temperature

UFLSH : Sensible heat flux
 UMSLB : Downward long wave radiation flux of ground
 USOLAR : Net short wave radiation flux of ground
 TIN3 : Soil temperature (third layer)
 A_VEL : Maximum wind velocity

UPLH : Latent heat flux
 UMSLB : Upward long wave radiation flux of ground
 QVGRD : Specific humidity of surface
 TBN4 : Soil temperature (fourth layer)

土壌関連データ : sb

TSC : Canopy temperature
 TSD2 : Soil temperature (second layer)
 SW1 : Saturation ratio of soil water (first layer)
 TSS1 : Snow temperature (first layer)

TSG : Ground/grass surface temperature
 TSD3 : Soil temperature (third layer)
 S1 : Saturation ratio of soil ice (first layer)
 RDFS : Surface runoff

TSS : Snow skin temperature
 SW2 : Saturation ratio of soil water (second layer)
 S2 : Saturation ratio of soil ice (second layer)
 RDFS : Surface drainage (downward)

TSD1 : Soil temperature (first layer)
 SW2 : Saturation ratio of soil water (second layer)
 S3 : Saturation ratio of soil ice (third layer)
 LTR5 : Transpiration (from leaf to atmosphere)

INT : Interception (from leaf to atmosphere)
 WTR_S2 : Water content in snow grid (second layer)
 SWE_S2 : Water equivalent in snow grid (second layer)
 SNDEP : Volume water content (30 cm below ground)

LSEL : Sublimation (from snow to atmosphere)
 WTR_S3 : Water content in snow grid (third layer)
 SWE_S3 : Water equivalent in snow grid (third layer)

SMT : Snow melting
 WTR_S4 : Water content in snow grid (fourth layer)
 SWE_S4 : Water equivalent in snow grid (fourth layer)

WTR_S1 : Water content in snow grid (first layer)
 SWE_S1 : Water equivalent in snow grid (first layer)
 SWE_T : Water equivalent of total snow cover

大気3次元データ : 3d_data

DRSO2
 CVRS
 PTOW
 U
 QV
 PRS
 V
 W_G
 QC
 QG
 W
 GR
 QG
 P
 ETURB
 PSEA
 TIN
 TSD4
 QW50

データダウンロードの条件指定

期間: 日 月 年

TOPOデータのダウンロード

SDM/CSV形式

検索結果

検索用住所情報: 0114(19)
 検索件数: 1270
 検索結果ダウンロード形式: CSV形式

simulation_name	start_yr	one_month_precipitation	データ(ハイブリッド形式)	データ(テキスト形式)	データ(CSV形式)
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-101	2050-09	188.573811	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-101	2050-10	293.981732	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-101	2050-11	118.831547	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-102	2050-09	127.479482	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-102	2050-10	155.119489	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-102	2050-11	70.768877	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-103	2050-09	326.232482	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-103	2050-10	143.670236	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-103	2050-11	35.615645	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
JAPDF_RCM/HFB_4R_CC/w-104	2050-09	529.843313	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード

SEAL-Fでデータ取得の例

領域モデル・降水量・宮崎県
将来4℃昇温実験
月別値

データダウンロードの概要および注意事項

(1) ハイナリ形式のデータの作成にはDASの標準機能を用いている。テキスト形式とCSV形式のデータは、SEI-CATで開発した機能をjusingにて、ハイナリ形式のデータに変換している。
 (2) データダウンロードは1ヶ月単位である。検索結果に複数月が含まれる場合は、複数月のデータダウンロードとなる。
 (3) テキスト形式とCSV形式の場合は、複数月のデータダウンロードを行うと、データの取得状況によってはエラー（002エラー(不良)）が発生する可能性がある。
 (4) テキスト形式のデータフォーマットは、時刻をTとして(T, X, Y)で表す。例は以下例通りである(CSV形式も同様)。
 (0,0,0) (0, 1,0) ... (0,189,0) (0,190,0)
 (0,0,1) (0, 1,1) ... (0,189,1) (0,190,1)
 (0,0,154) (0, 1,154) ... (0,189,154) (0,190,154)
 (1,0,0) (1, 1,0) ... (1,189,0) (1,190,0)
 (720,0,153) (720, 1,153) ... (720,189,153) (720,190,153)
 (720,0,154) (720, 1,154) ... (720,189,154) (720,190,154)

データダウンロードの条件指定

期間: 年 月 日 時 分 秒

TOPDデータのダウンロード

形式(CSV形式)

検索結果

検索所要時間: 0.197 (秒)
 検索件数: 270
 検索結果ダウンロード: TEXT形式, CSV形式

simulIdSea_name	date_yr	one_month_precipitation	データ(ハイナリ形式)	データ(テキスト形式)	データ(CSV形式)
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m101	2050-09	220.822627	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m101	2050-10	136.861906	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m101	2050-11	109.470000	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m102	2050-09	162.263343	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m102	2050-10	58.216777	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m102	2050-11	50.768877	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m103	2050-09	328.332482	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m103	2050-10	143.470336	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m103	2050-11	35.615640	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m104	2050-09	529.863313	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
04P0F_RCM/HFB_4K_CC/m104	2050-10	234.656510	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード

SEAL-Fでデータ取得の例

領域モデル・降水量・宮崎県
将来4℃昇温実験
月別値

データダウンロードの検索および注意事項

(1) バイナリ形式のデータの形式にはDASの標準機能を用いている。テキスト形式とCSV形式のデータは、SI-CATで開発した機能を用いて、バイナリ形式のデータを変換している。

(2) データダウンロードは1ヶ月単位である。検索結果に複数月が含まれる場合は、複数月のデータダウンロードとなる。

(3) テキスト形式とCSV形式の場合は、複数月のデータダウンロードを行うと、データの重複状態によってエラー（002エラー）が発生する可能性がある。

(4) テキスト形式のデータフォーマットは、時刻をTとして(T, X, Y)で表す。例は以下例通りである(CSV形式も同様)。

(0,0,0) (0,1,0) ... (0,189,0) (0,190,0)
 (0,0,1) (0,1,1) ... (0,189,1) (0,190,1)

(0,0,154) (0,1,154) ... (0,189,154) (0,190,154)
 (1,0,0) (1,1,0) ... (1,189,0) (1,190,0)

(720,0,153) (720,1,153) ... (720,189,153) (720,190,153)
 (720,0,154) (720,1,154) ... (720,189,154) (720,190,154)

データダウンロードの変数選択

地上気象データ : surf

SMQR : Accumulated rain

SMQH : Accumulated hail

U&V : U and V-components of wind

CLM : Medium cloud cover

CLH : High cloud cover

SMQE : Accumulated ice

RAIN : Precipitation

TMP : Temperature

CLH : High cloud cover

SMQS : Accumulated snow

PSEA : Sea level pressure

TTD : Dew point depression

CLA : Total cloud cover

SMQG : Accumulated graupel

PSURF : Surface pressure

CLL : Low cloud cover

TPW : Precipitable water

熱平衡関連気象データ : ph2a

W_G1 : Volume water content (10 cm below ground)

URSD1 : Downward short wave radiation flux at ground

URBEAM : Direct solar radiation on horizontal plane

T1N1 : Soil temperature (first layer)

T1A_TSFC : Maximum temperature

TSC : Canopy temperature

TSD2 : Soil temperature (second layer)

SW3 : Saturation ratio of soil water (third layer)

TSS1 : Snow temperature (first layer)

LINT : Interception (from leaf to atmosphere)

WTR_S2 : Water content in snow grid (second layer)

SWE_S2 : Water equivalent in snow grid (second layer)

SNDEF : Volume water content (50 cm below ground)

W_G2 : Volume water content (50 cm below ground)

URSL1 : Upward short wave radiation flux at ground

URDIFF : Sky-scattering solar radiation

T1N2 : Soil temperature (second layer)

T1_TSFC : Minimum temperature

TSD : Ground/grass surface temperature

TSD3 : Soil temperature (third layer)

SI1 : Saturation ratio of soil ice (first layer)

RDFS : Surface runoff

LSBL : Sublimation (from snow to atmosphere)

WTR_S3 : Water content in snow grid (third layer)

SWE_S3 : Water equivalent in snow grid (third layer)

UFLSH : Sensible heat flux

URLLB : Downward long wave radiation flux at ground

USOLAR : Net short wave radiation flux at ground

T1N3 : Soil temperature (third layer)

T1A_VEL : Maximum wind velocity

TSS : Snow skin temperature

SW1 : Saturation ratio of soil water (first layer)

SI2 : Saturation ratio of soil ice (second layer)

ROPB : Bottom drainage (downward)

SNMT : Snow melting

WTR_S4 : Water content in snow grid (fourth layer)

SWE_S4 : Water equivalent in snow grid (fourth layer)

UPLH : Latent heat flux

URLLB : Upward long wave radiation flux at ground

QVGRD : Specific humidity at surface

T1N4 : Soil temperature (fourth layer)

TSD1 : Soil temperature (first layer)

SW2 : Saturation ratio of soil water (second layer)

SI3 : Saturation ratio of soil ice (third layer)

LTR5 : Transpiration (from leaf to atmosphere)

WTR_S1 : Water content in snow grid (first layer)

SWE_S1 : Water equivalent in snow grid (first layer)

SWE_T : Water equivalent of total snow cover

検索結果

検索所要時間: 0.197 (秒)

検索件数: 270

検索結果ダウンロード: TXT形式, CSV形式

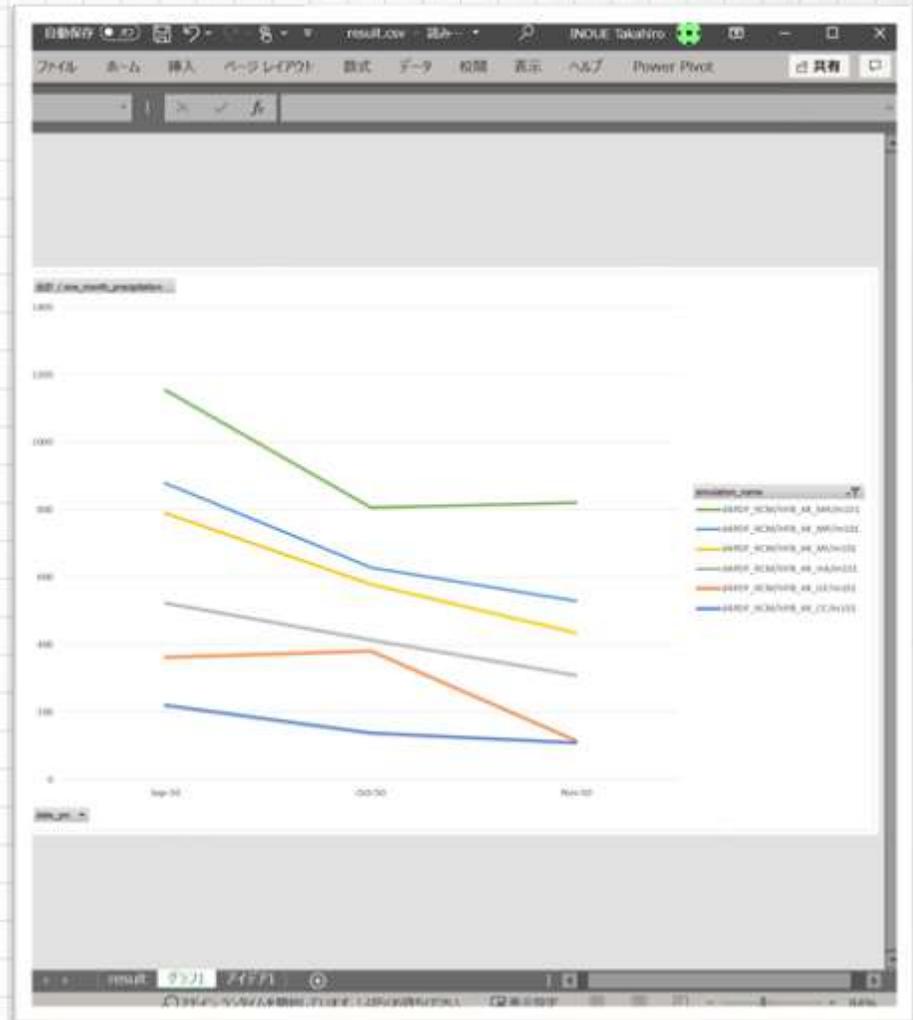
simulation_name	date_ym	one_month_precipitation	データ (バイナリ型式)	データ (テキスト形式)	データ (CSV形式)
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m101	2050-09	220.822627	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m101	2050-10	136.861906	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m101	2050-11	109.470000	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m102	2050-09	162.263343	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m103	2050-11	35.615645	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m104	2050-09	529.863313	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m104	2050-10	334.656510	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード

SEAL-Fでデータ取得の例

DLされたCSVファイル

simulation_name	data_yr	one_month_precipitation
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m101	Sep-50	220.822627
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m101	Oct-50	136.861906
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m101	Nov-50	109.47
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m102	Sep-50	162.263343
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m102	Oct-50	54.216777
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m102	Nov-50	13.457045
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m103	Sep-50	309.30939
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m103	Oct-50	195.966348
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m103	Nov-50	22.985238
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m104	Sep-50	686.240401
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m104	Oct-50	548.978138
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m104	Nov-50	184.995823
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m105	Sep-50	32.210672
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m105	Oct-50	295.232671
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m105	Nov-50	97.901444
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m106	Sep-50	256.753214
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m106	Oct-50	251.979766
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m106	Nov-50	42.184273
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m107	Sep-50	26.266599
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m107	Oct-50	120.835811
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m107	Nov-50	42.592957
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m108	Sep-50	73.540688
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m108	Oct-50	24.806391
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m108	Nov-50	73.476784
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m109	Sep-50	54.489034
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m109	Oct-50	411.478617
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m109	Nov-50	0.000736
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m110	Sep-50	346.751083
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m110	Oct-50	94.929679
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m110	Nov-50	0.480201
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m111	Sep-50	118.897663
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m111	Oct-50	156.230003
d4PDF_RCM/HFB_4K_CC/m111	Nov-50	156.230003

Excelでグラフ化



SEAL-F マニュアル

<http://si-cat.diasjp.net/seal/>

SEAL SI-CAT 気候実験データベースシステム
System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data (SEAL)

概要

SI-CAT 気候実験データベースシステム (System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data: SEAL) は、気候変動適応技術実証プログラム (Social Implementation Program on Climate Change Adaptation Technology: SI-CAT) において開発されました。SEAL は地球温暖化対策に関するアンサンブル気候予測データベース (database for Policy Decision making for Future climate change: d4PDF) のデータから、迅速かつ効率的に必要なデータを見つけるためのシステムです。d4PDF のデータは、データ統合・解析システム (Data Integration and Analysis System: DIAS) からダウンロードすることができます。当ページの下方にある「利用の手引き」を参照の上、ご利用ください。

SEAL-F (SEAL-Finder) について

SEAL-F は、d4PDF から条件に合ったデータを絞り込むための Web ユーザーインターフェースです。降水量や気温について、検索範囲などの条件を入力することで、検索結果などの必要なデータを検索することができます。また、検索結果に基づき、オリジナルデータをダウンロードすることができます。

SEAL-V (SEAL-Visualizer) について

SEAL-V は、d4PDF のデータを可視化するための Web ユーザーインターフェースです。降水量や気温について、ヒストグラムなどを描くことができます。

利用の手引き

利用の手引きは、SEAL の利用方法を説明したものです。Web ユーザーインターフェースのスクリーンショットを見ながら、利用方法を確認することができます。とりあえず利用したい方は、第 3 章をご覧ください。より詳細な利用方法を知りたい方は、第 2 章をご覧ください。

[利用の手引き \(第 2 版\)](#) (最終更新日: 2019 年 12 月 26 日)

目次

SEAL-F マニュアル

<http://si-cat.diasjp.net/seal/>

SEAL SI-CAT 気候実験データベースシステム
System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data (SEAL)

概要

SI-CAT 気候実験データベースシステム (System for Efficient content-based retrieval to Analyze Large volume climate data; SEAL) は、気候変動適応技術社会実装プログラム (Social Implementation Program on Climate Change Adaptation Technology; SI-CAT) において開発されました。

SEALは地球温暖化対策に関するアンサンブル気候予測データベース (database for Policy Decision making for future climate change; d4PDF) のデータから、迅速かつ効率的に必要なデータを抽出するためのシステムです。d4PDFのデータは、データ検索・視覚化システム (Data Retrieval and Visualization System; DRVIS) からダウンロードすることができます。当ページの下方にある「利用の手引き」を参照の上、ご利用ください。

SEAL-F
SEAL-Finder
データ検索用

SEAL-V
SEAL-Visualizer
データ分析用

SEAL-F (SEAL-Finder) について

SEAL-Fは、d4PDFから条件に合ったデータを取り込むためのWebユーザーインターフェースです。降水量や気温について、都道府県ごと、観測現象などの必要なデータを検索することができます。また、検索結果に基づき、オリジナルデータをダウンロードすること

SEAL-V (SEAL-Visualizer) について

SEAL-Vは、d4PDFのデータを可視化するためのWebユーザーインターフェースです。降水量や気温について、ヒストグラムなどを

利用の手引き

利用の手引きは、SEALの利用方法を説明したものです。Webユーザーインターフェースのスクリーンショットを見ながら、利用方法です。とりあえず利用したい方は、第3章をご覧ください。より詳細な利用方法を知りたい方は、第2章をご覧ください。

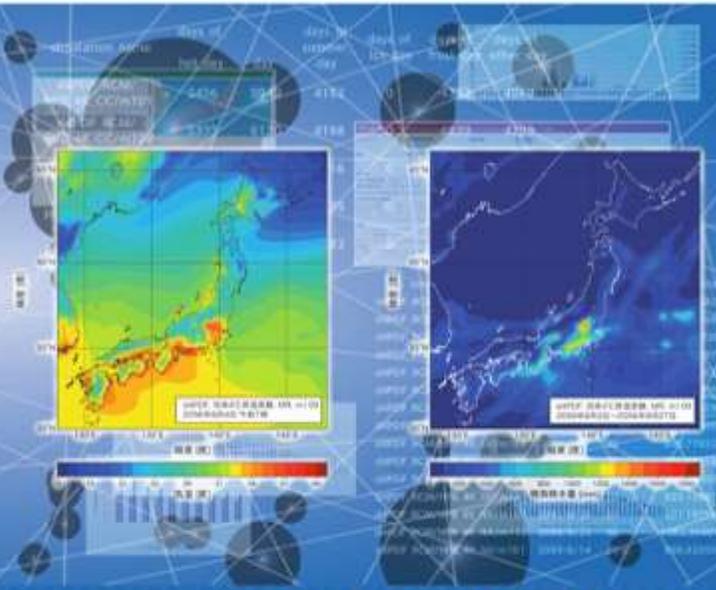
利用の手引き (第2版) (最終更新日: 2019年12月20日)

利用の手引き

利用の手引きは、SEALの利用方法を説明したものです。Web: す。とりあえず利用したい方は、第3章をご覧ください。より詳細な利用方法を知りたい方は、第2章をご覧ください。

利用の手引き (第2版) (最終更新日: 2019年12月20日)

SEAL-F マニュアル



**SI-CAT 気候実験
データベースシステム**
 System for Efficient content-based retrieval to
 Analyze Large volume climate data (SEAL)

本手引き書は、文部科学省の委託事業「気候変動適応技術社会実装プログラム (SI-CAT)」において
 国立研究開発法人海洋研究開発機構が作成したものです。

利用の手引き

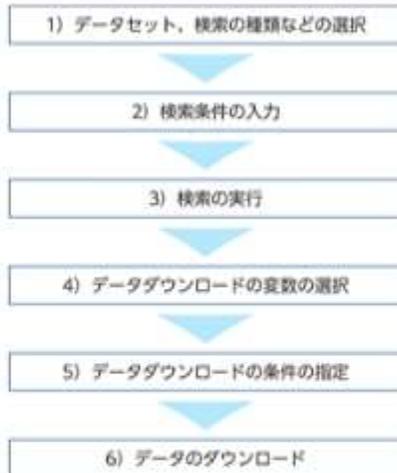
System for Efficient content-based retrieval to	SEAL-F	SEAL-Finder
Analyze Large volume climate data (SEAL)	SEAL-V	SEAL-Visualizer

SEAL-F マニュアル

2 使用方法

1 SEAL-F (データ検索用)

SEAL-Fでは、図2-1に示す手順に従って操作することで、dRPFのデータを絞り込み、ダウンロードすることができます。



注) その他、本冊では、モデルの格子点の経緯度とLongitude、Latitude情報の対応関係をダウンロードすることができます。(7) TOPデータのダウンロード) についても解説している。

図2-1 SEAL-Fの操作フロー

1) データセット、検索の種類などの選択

図2-2に示すトップページから「①データセット」、「②実験の種類」、「③変数および検索の種類」を選択します。



図2-2 SEAL-Fトップページの「①データセット」、「②実験の種類」、「③変数および検索の種類」

① データセット

データセットは、「dRPF (領域モデル実験)」と「dRPF (全球モデル実験)」が選択できます。

② 実験の種類

実験の種類は、「dRPF (領域モデル実験)」では、「過去実験」、「将来2ヶ月間実験」、「将来4ヶ月間実験」の3種類を選択できます。「dRPF (全球モデル実験)」では、「過去実験」、「将来4ヶ月間実験」、「未来時代実験」の3種類を選択できます。なお、各実験の概要は、「① dRPF」巻9-4をご覧ください。詳細はdRPFホームページ²⁾をご覧ください。

③ 変数および検索の種類

変数は、「dRPF (領域モデル実験)」では、「降水量」、「気温」、「降水量・気温の複合検索」の3種類を選択できます。「dRPF (全球モデル実験)」では、「台風トラックデータ」を選択できます。また、変数ごとに変数の検索の種類を選択できます(表2-1参照)。

表2-1 変数および検索の種類 (1/3)

変数	検索の種類	概要
降水量 (RAIN)	1時間降水量が閾値以上	ある行政区域の指定期間 (ア, >年, 月, 日 > ア) において、1時間降水量が A_{th} mm以上となるケースを検索する。
	1時間降水量が閾値以上の発生回数	ある行政区域の指定期間 (ア, >年, 月, 日 > ア) において、1時間降水量が A_{th} mm以上となる回数を検索する。
	ある時間長の積算降水量が閾値以上	ある行政区域の指定期間 (ア, >年, 月, 日 > ア) において、ある時間長 (Δア) の積算降水量が A_{th} mm以上となるケースを検索する。

問合せ・質問は

DIAS事務局まで
dias-office@diasjp.net

